

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
解剖学4						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験		
鍼灸学科・夜間部	1年	後期	亀谷 文人			
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	人体の構造と機能		座学	2	20	
科目概要						
人体の構造を理解するために、解剖学を学び、鍼灸師に必要な神経系・感覚器系の知識を身に付ける。						
目標						
正常な人体の構造と機能を理解するために、生命活動全般の調整や各器官からの情報収集に機能した、各感覚器の構造と機能について、その特徴と役割についての基礎知識を身に付ける。						
一般目標(GIO)						
本講義を学習することで達成されるべき目標						
到達目標(SBO)						
1. 神経系の構造機能の全体像を理解し、教科書の太字を述べられるようになる。 2. 生命活動の司る中枢神経系の各部位について教科書の太字を述べられるようになる。 3. 神経系の情報経路である伝導路について教科書の太字を述べられるようになる。 4. 末梢神経の特徴を理解し、各脳神経について教科書の太字を述べられるようになる。 5. 末梢神経の走行を理解し、その特徴について教科書の太字を述べられるようになる。 6. 自律神経の構造的特徴を理解し教科書の太字を述べられるようになる。 7. 各感覚器について受容器の特徴を理解し、教科書の太字を述べられるようになる。						
履修に必要な予備知識や技能						
教科書読解能力(専門用語を調べる能力) コミュニケーション能力 体内の構造を自分や他者の身体からイメージできる能力						
教科書・参考書						
教科書: 東洋療法学校協会編解剖学 参考書: 東洋療法学校協会編生理学						
受講上の注意						
資料等はその都度配布する。学習時は騒いで他学生に迷惑を掛けないこと。 教科書の構成と一部変更して授業を進行する。 授業の進行に関しては学習の習熟度に応じて予定に変更が生じることがある。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
	小テスト (チェックテスト)					0
評価割合(%)						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	中枢神経系1: 脊髄			p118~121	ノート・色ペン	
第2回	中枢神経系2: 延髄・橋・中脳			p121~123	ノート・色ペン	
第3回	中枢神経系3: 間脳・大脳(大脳基底核)			p123~127	ノート・色ペン	
第4回	中枢神経系4: 大脳(大脳辺縁系・大脳皮質)			p127~128	ノート・色ペン	
第5回	中枢神経系5: 小脳・髄膜			p123	ノート・色ペン	
第6回	中枢神経系6: 脳室系			p128~130	ノート・色ペン	
第7回	末梢神経系1: 脳神経総論			p135	ノート・色ペン	
第8回	末梢神経系2: 脳神経系各論			p135~138	ノート・色ペン	
第9回	末梢神経系3: 脳神経系各論			p138~139	ノート・色ペン	
第10回	末梢神経系4: 脊髄神経			p139~140	ノート・色ペン	
第11回	末梢神経系5: 脊髄神経			p140~142	ノート・色ペン	
第12回	末梢神経系6: 脊髄神経			p142~143	ノート・色ペン	
第13回	感覚器1: 視覚器			p147~149	ノート・色ペン	
第14回	感覚器2: 視覚器			p150~153	ノート・色ペン	
第15回	感覚器3: 聴覚器			p153~155	ノート・色ペン	
第16回	感覚器4: 平衡覚器			p156~157	ノート・色ペン	
第17回	感覚器5: 味覚・嗅覚			p157~158	ノート・色ペン	
第18回	感覚器6: 皮膚感覚			p26~31	ノート・色ペン	
第19回	試験				ノート・色ペン	
第20回	神経系: デルマトーム			p142	ノート・色ペン	
実務経験と本講義との関連について						
メールアドレス						
kametani@nihonisen.ac.jp						